

母の日は梧桐会総会へ

梧桐会報

第40号

平成5年4月1日発行
発行所
梧桐会
東京都品川区豊町2-1-7
電話 (3786) 3355~6
都立大崎高等学校内
編集人 渡部 彦
発行所 千葉 治男
印刷所 日正印刷



今年の総会風景

今年も母の日に、梧桐会総会が開催されます。なつかしい悪友、怖かった先生方、忘れられない初恋の人などと再会し、あの日にタイムスリップできる場。それが、この同窓会です。クラス会やクラブのOB会などの待ち合わせに利用するもよし、カラオケで自慢のノドを披露するもよし……

なにはともあれ、5月9日(日)、大崎高校へ足を運んで見て下さい。すばらしい再会がきっとあります。

日時 5月9日(日)
12時30分(受付開始)
1時~4時
会費 500円(新卒者は無料)
プログラム
会長の挨拶
学校長の挨拶
会計報告
その他



昨年度に発足した大崎整備検討委員会(本校の全定教職員の校舎改築委員と教育庁施設部担当者、都第二建設事務所、都道補助26号線の計画・接洽担当者、都建設局該担当)が92年度中に六回開催された。その詳細な内容は省略させていただきますが、委員会の流れは、大崎高校整備計画代表案の検討と計画案の絞り込み、代表案の立体模型作成と計画案の一本化、他の都立高校の改築・新設した設備の見学会等であった。

大崎高校整備検討委員会の開催後の職員会議では、必ず委員会内容の報告がなされたが、その中でも七月十七日の職員会議において代表計画案(十個の案の利点・欠点が説明され、アンケートによる代表案の集計とその他の要望や質問事項が提出された。それを持ち寄り、第六回検討委員会が開催され、十一月九日、第七回検討委員会では、代表モデル三案程度(二案は教育庁施設部存置案の立体模型の作成が決定し、更に検討を重ね、将来は一案に絞り込み、道路と校舎改築を離さず、計画を実施できるように今後も協力することを確認した)。

十二月十六日に全・定合同代表案検討会がなされ、校舎改築委員独自の校舎配置選定チェック資料と人工地盤を有効利用している建造物のビデオ等を参考に、代表二案に絞り込み、十二月二十二日の職員会議で、絞り込みの経緯趣旨説明と今後の方針が説明されたが、翌年一月に定時制より代表案の変更が提示され、一月二十五日に再度合同検討委員会を召集し、話し合ったが折り返し、一月二十八日の第七回整備検討委員会で全日制案・定時制案が提示され

92年度大崎高校整備検討委員会報告及び93年度予定計画について

校舎改築委員長 辻 忠則

た。しかし、全日制側の強い要望で折り合いのつかなかった計画案(人工地盤II校庭等)の模型作成が第二建設事務所と建設局側で了承され、二月三日の全日制職員会議で内容変更等が説明され、異議は無かった。

本校教職員の校舎改築への関心も高まり、三月十二日に都立富士・新宿山吹・上野・台東商業高校などの校舎見学会が実施され、集約型校舎や不整形な土地の有効活用事例を見て大変役立った。

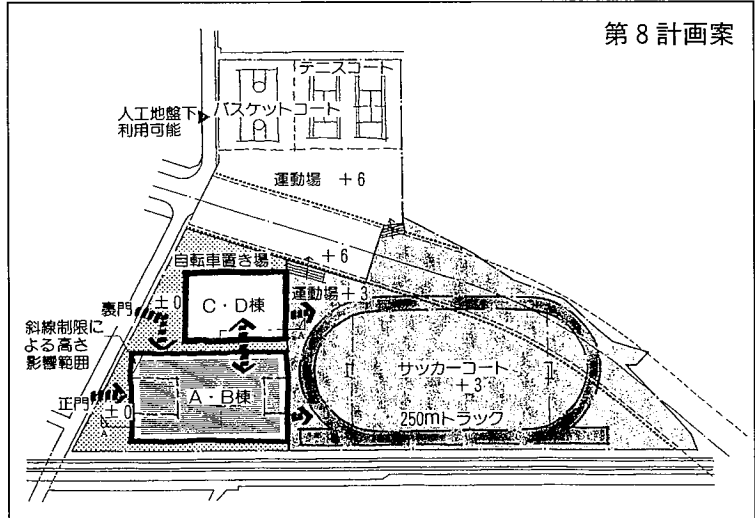
三月二十二日の第八回整備検討委員会では立体模型による代表三案の吟味・検討・質疑応答をし、翌日の全日制職員会議で再度、代表案の説明と教職員の意見・要望等を吸収し、五月を目途に最終代表案を決定する運びとなった。

93年度は大崎高校整備検討委員会としての総括、発展的解散をし、名称を変えて、校舎改築と都道26号線工事に向けて活動を展開していく予定である。

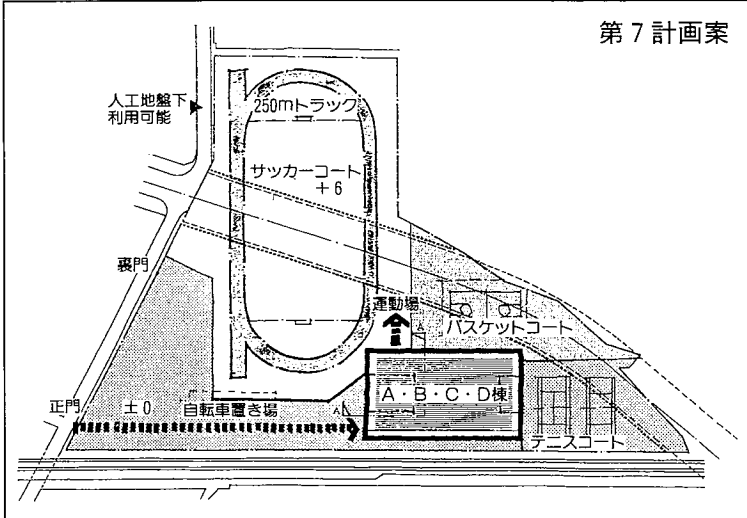
私見だが、今後は都建設局(第二建設事務所を含む)は本校敷地内通過部分の都道26号線工事費の予算申請をし、本校校舎改築委員は、全定教職員・学校関係者の合意に基づいた代表案を教育庁施設部に承認させ、予算申請し、あくまで道路と校舎改築を切り離さず同時進行で実施できるように予算計上に精力的に努力する必要がある。遅くとも平成七年度三月には改修費予算が付くことが望ましい。

その為に今後一層の梧桐会の御支援を宜しくお願いしたい。

最後に代表計画案を掲載し、ご指導ご鞭撻を賜りたい。
全日制案(第七計画案)
○+3の部分も+6に嵩上げた

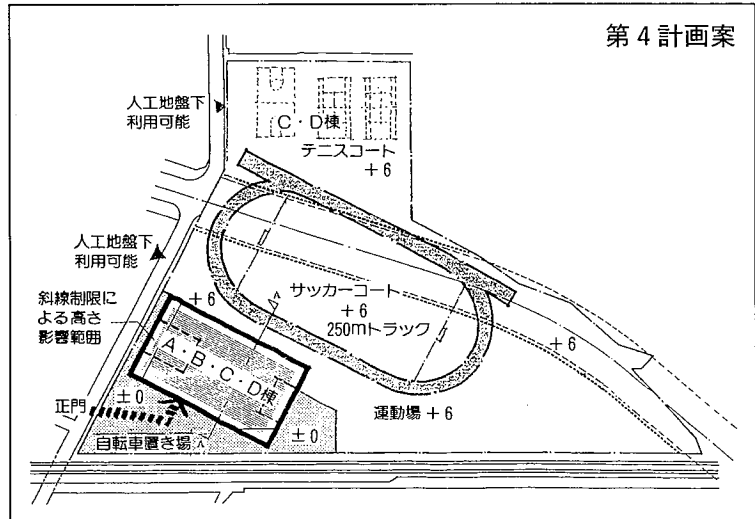


第8計画案

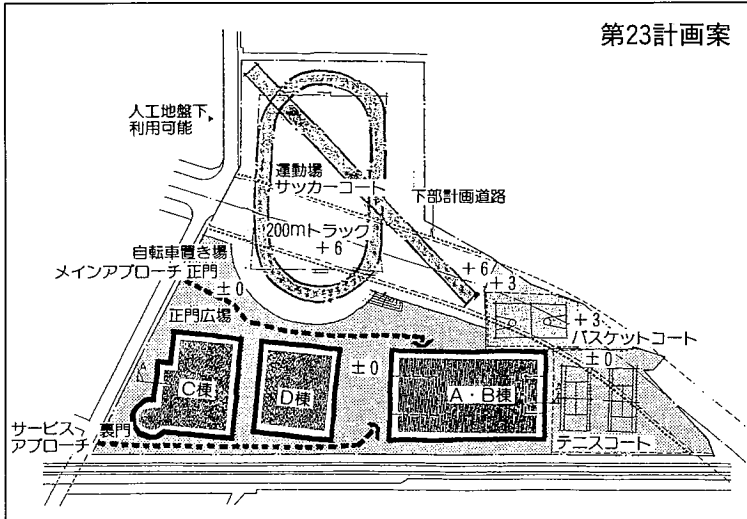


第7計画案

模型の作成も要望する。
○日影規制と冬至日の日影のグラウンド部分に及ぼす影響が少ない。
○人工地盤下の有効利用(体育附帯施設・駐輪場・トラック等)
○二棟型へ変更が可能なら、集約的不整形な土地を有効に利用できる。
定時制案(第八計画案)
○グラウンドはあくまで土が良く、人工地盤は生徒に良くない。
○校舎が道路に接近している方が生徒管理上良い。
○給食等の搬入が容易である。
○全日制より第八案の+3部分を+6に嵩上げた人工地盤の模型を要望する。
教育庁施設部案(第二十三案)
○所謂存置型と呼ばれるもので、昭和六十二年度竣工した体育館格技棟を残し、ホームルーム棟のみ全面改築する。



第4計画案



第23計画案

全日制より第四計画案についても人工地盤面(グラウンド部分)のみの模型を依頼。

着任にあたって

より感謝申し上げます。

明治四十四年、大崎町立大崎女子実業補習学校として開校二年後、第一回卒業生を世に送り出して以来、今日まで、数多くの同窓生を送り出して来ました。この間、時代は明治……平成へと変化して来ましたが、その中に在って教

謝致しております。

平成六年度からは、新教育課程が実施され、入学試験も単独選抜となります。また、最近の私立志向の増加や、中学の減少の傾向を考えると、都立高校は大変大きな試験の時代を迎えております。

この変化の激しい時、五才離れの話しが合わない、若い人が云々のを聞きますが、梧桐会のように長い伝統を持つた同窓会が、世代を越えて協力し活動できるのは、他の人を思いやる心ではないでしょうか。

この変の激しい時、五才離れの話しが合わない、若い人が云々のを聞きますが、梧桐会のように長い伝統を持つた同窓会が、世代を越えて協力し活動できるのは、他の人を思いやる心ではないでしょうか。

この変の激しい時、五才離れの話しが合わない、若い人が云々のを聞きますが、梧桐会のように長い伝統を持つた同窓会が、世代を越えて協力し活動できるのは、他の人を思いやる心ではないでしょうか。

この変の激しい時、五才離れの話しが合わない、若い人が云々のを聞きますが、梧桐会のように長い伝統を持つた同窓会が、世代を越えて協力し活動できるのは、他の人を思いやる心ではないでしょうか。

この変の激しい時、五才離れの話しが合わない、若い人が云々のを聞きますが、梧桐会のように長い伝統を持つた同窓会が、世代を越えて協力し活動できるのは、他の人を思いやる心ではないでしょうか。

この変の激しい時、五才離れの話しが合わない、若い人が云々のを聞きますが、梧桐会のように長い伝統を持つた同窓会が、世代を越えて協力し活動できるのは、他の人を思いやる心ではないでしょうか。



校長 上條 重夫

このたび四月一日付をもって、八十年を越える伝統のある都立大崎高等学校へ赴任致しましたことを大変に光栄に思っております。

育内容も戦前から戦後へ大きく変わり、更に、中学校、高等学校の分離、合同選抜、学区制導入等、様々な困難に会いながらも今日を迎えることができたことは、地域に居られる多くの同窓生の方のご支援とご理解によるものと深く感

かを三つの案にまで絞る所までに決定しました。この内一つに決定するまでは、まだ時間と努力が必要です。皆様方のご支援をお願いする次第です。

今日、国際化、情報化、高齢化が盛んに云われています。八十周年記念誌の中にも友を思い、先生への思いや生徒への思いが綴られています。これが伝統なのかも知れませんが、梧桐会の皆様のこの思いが、大崎高校の今日を、有形無形の力で支え、暖かく見守って下さっていることを強く感

せん。学校が地域や梧桐会の知的財産を教育現場に活用させていいただき、他方、学校の教育力を地域のために、生涯学習の場として行く等、相互交流が多くなることを理解の深まりとなることを云えます。

「あのトイレの表示ですけど、『職員用生徒使用禁止』っていうあれね、なんかアメリカの黒人差別みたいで、いやだなあ。手洗いはみんなのものだし、ぼくは、はずしたほうがいいと思っんですけど」

「ああ、それが別れたのか、それでどうして、いまは、しあわせにしてるのか、あ？」

「ああ、それが別れたのか、それでどうして、いまは、しあわせにしてるのか、あ？」

「ああ、それが別れたのか、それでどうして、いまは、しあわせにしてるのか、あ？」

「ああ、それが別れたのか、それでどうして、いまは、しあわせにしてるのか、あ？」

惜春



旧職員 神野志 季三江

じつは前任校で、長い議論の末「制服」を決めた。やむをえない決定だった。規則で生徒を縛らなくてはならないときもある。そう思いながらも、生徒に対する大崎の姿勢は新鮮だった。

内容から、受話器のむこうには卒業生の女性が、若い結婚と、そして離婚をした女性が、いることがわかった。

大崎に長く暮らしていると、縁に囲まれていることが、あたりまえのように思えてしまふ。この豊かな緑は、矢野先生の手で育てられたものである。

さて、わたしといえれば、その大崎に支えられて十三年、子育てと老親の看取りというふたつの難事をようやく終えた今春、ゆくりなくもここを去ることとなった。

残された時間はあまりに短く、いづくへ言葉がみつからない。

職員だより

痴めいたことをもらしたのだらう。それにはたいする先生の励まし言葉だった。苛立っていた心が、この言葉で静められていった。

四本のヒマラヤ杉の老樹がそびえ、その下で、まぶたはカラスが巣をかける大崎である。しだれ桜が、みごとな花弁を散りこぼす大崎である。

そして、多くの人生の先輩に見守られている大崎である。

そして、多くの人生の先輩に見守られている大崎である。

そして、多くの人生の先輩に見守られている大崎である。

そして、多くの人生の先輩に見守られている大崎である。

資料の収集について 再度のお願い

竹内 重雄

先号(第39号)の会報で、私は「八十周年記念誌の編集を終えて皆様の皆様へのお願い」資料の収集についてと題して、資料収集の呼びかけを行った。

……会報はいつも楽しみによませていただいております。さて、会報39号に、「資料の収集について」の記事が載せられていました。

保田正先生童謡曲集で「春の足音」出版される

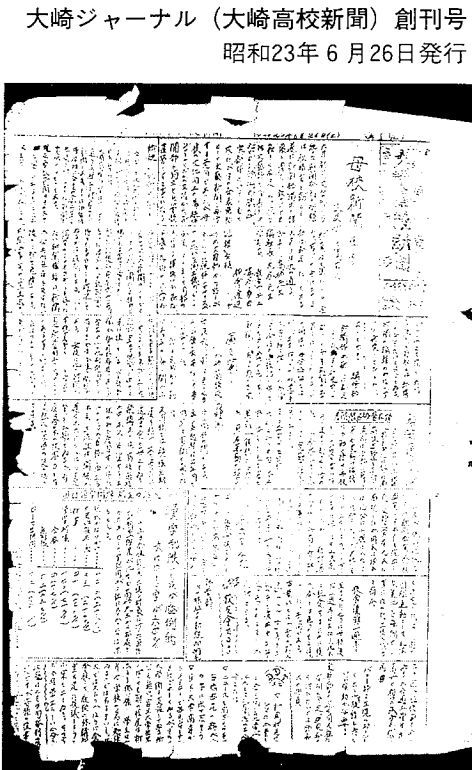
先日、保田正先生より、美しい表紙の本が届けられた。書名には保田正童謡曲集「春の足音」が含まれている。

保田先生は、昭和32年から

保田正先生童謡曲集

こうまのゆめ

本書の定価は、一、四四〇〇円(税込)であるが、一、二〇〇〇円で総会の当日、会場でご希望の方にお渡ししたいとのこと。



大崎ジャーナル(大崎高校新聞)創刊号 昭和23年6月26日発行

創刊号は昭和23年6月26日(日)発行で新聞名は大崎高校新聞、すでに第三号から大崎高校ジャーナルへと変更している。創刊号の見出しは、「母校新聞生——校友会と独立に——」広き門——大崎高校夜間部開く「希望通るか」都高校区移管其後「自治委員会」校舎復興一周年「漢字制限賛成が圧倒的」次はローマ字が六四％「国語国字問題調査の結果」論説「創刊に際して」がある。裏面は文芸欄的な色彩が強く、「個人主義文学の崩壊」「左右道人の詩」「日本文学史」「無題」「作品」「僕と母ちゃん」「書「永遠の良人」「無題」「WTR放送」と題するものがある。

会員だより

昭和20年代前半の大崎高校

能登 孝子 (24年度卒)

学制の変わりめで

昭和二十二年、六三三三制と学制が変わり、二十四年から高校三年生になり、これまでの級の人達がぐんと少なくなりました。他校からの人達と、男の人も一人、新しく入って来ました。私達よりずっと年上の方達でしたが、すぐにお互いがとけこめて、和気あいあいの友達づきあいが出来ました。教室も、人数が少なくなりましたので、広く感じられました。

新聞部の事

二年生、一年生も共学になりました。女だけの学校と異なり、競争心も出て来たり活動的になりました。でも、雰囲気も変わりました。でも、高校といえのは、授業がどんな風になるのか、卒業したらどうなるのか不安もありました。周囲の大人達にも、新制高校という制度が理解しにくかった様です。私は尋常小学校に入学し、

国民学校で卒業し、品川実践女学校に入り、卒業は大崎高校という制度の変わりめを通じて来ました。その流れにのせられた時の学生は、不安で、複雑な思いをさせられます。大学も又、新制の四年制になり、短大も新設されました。私は短大に進学したのですが、そこでも第一回目の新入生で卒業生となりました。余程そんな事に縁があるのでしょうか。

北河先生(家庭)
芳賀沼先生(化学)
上野先生(生物)
坪田先生(数学)



これは高尾山へ遠足に行った時だと思えます。何年か覚えていませんが、当時の先生方の一部です。

新しい校舎が出来た時の思い出

昭和二十二年、当時の星製薬(現在のTOC)の裏の高台に、新しい校舎が出来ました。それまでは、いつも間借り、肩身のせまい思いをしていたので、真新しい、二棟もある校舎が出来ると嬉しかった。手足を充分にのびせる思いが出来ました。ただ、火葬場が近くにあり、煙突からの臭いを気にする人も居ましたが、運動場も、これまでよりはずっと広く、当時は、周りの景色もよく見渡せ、とても気分の良い思いをし

思いました。山手線が走っているのを見えませんでした。何より、自分の学校だ、という喜びがありました。誇りが持てるようになり、

思い出しているころ、女学校一年の時、沖電気の電線巻きをしました。これは、動員で工場に行かない代りでした。足踏の時間もありません。遠くでは、玉川まで歩いていき、初めに御殿山の車庫、岡田さんが独唱しました。又、演劇コンクールで、「机上」が都知事賞をとり、昭和二十二年八月十五日、正后に終戦の詔勅をきき、そのま



岡田愛子さん 能登孝子さん 小笠原和子さん S61クラス会 北鎌倉・長寿寺

「コンボンバンド」をよろしく

品澤 修 (61年度卒)

会員のみなさん、こんにちは。私は、リーダーでドラムの根本美喜雄君の5人です(みんな昭和61年度卒)。そう、バンド名は由来は、リーダーの名前の音読みからきています。私も含めて、みんな仕事を

持っていますので、金曜の夜に何度かスタジオを借りて練習をしい、本番当日、開演30分前は、ガラんとした会場も、開演時間になると、なつかしい顔でいっぱいになりました。ポテトス、ベシヤルII、アラスタック、ニューバスター、ミクス、ファンク、ニューバスター、コンボンバンドは、たつた3曲でしたが、とても楽しいライブとなりました。

コンボンバンド

まだ、そんな事をやっているの！と言っている人も知れませんが、ある事を、みんな

コンボンバンド

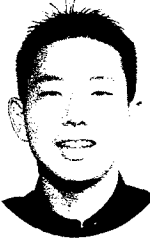
で続けていくのは、すばらしい事だと思います。コンボンバンドには、これからも、続け



丸山 鈴木 外川 根本 私 大迫

ありがとう大崎高校

竹田 琢 (平4年度卒)



始めまして。私は生徒会長をやっていた関係などで、平成4年度卒業生を代表し、これを書かせていただいています。この会報は、一部も発行されるので、私も一気にならな

卒業して四十余年、今でも忘れられない事はたくさんあります。話はずいぶん昔、大崎に居た時は、青春の入り口だ、ほんとうによかったと思

昭和二十二年の修善寺への一泊旅行は、戦争で修善寺旅行を経験しない私達にとって初めての旅行で、とても楽しい思い出です。でも、大きな台風のあとで途中が大変でした。山中湖の「こなや」へ初めて行った時

始めまして。私は生徒会長をやっていた関係などで、平成4年度卒業生を代表し、これを書かせていただいています。この会報は、一部も発行されるので、私も一気にならな

私は大崎高校を卒業して、早6年が経ちました。昔、プールがあった所にプール付き新体育館が建ったり、私服通学が禁止になったり、色々変わってしまいましたが、あの頃、共に遊び学んだ友人とは、今でも酒を飲んだり、スキーに行ったりしています。この間、高校時代に結成されたバンドに加わり、友人の結婚祝いのライブに参加しました。このバンドは、「コンボンバンド」とい、サザンオールスターズ、佐野元春などの曲のコピーを主にしています。メンバーは、ボーカルの外川秀之君、エレキギターの大迫秀之君、ベースギターの鈴木宏一君、キーボードの丸山裕子

は秋芳洞を見ましたが、ここはなかなか見えたえが良かったです。もうすでに、見て回った所はほとんど覚えていませんが、夜のことは今でも鮮明に覚えています。これが修学旅行と云うものでしょう。そして、もう一つの方の生徒会長をやっていた一年の十一月から二年の十一月までの一年間の事です。その頃生徒会長をやることなんて全く考えていませんでしたが、先生からやってみなさいと言われ、た時は、もう二度とこうい

		4年度予算	4年度決算	内 容	5年度予算
取 入	繰入雑	208,097	208,097	新会員入会費 総会、寄付、利息	1,497
	金入金	1,865,000	1,865,000		2,437,000
	合 計	400,000	264,000		400,000
支 出	総会幹事費	550,000	584,700	会場設営費、アルバイト 印刷費、発送、編集、連絡費 会費、交通費、名簿積立 会館費、名簿作成事務、通信費 慶弔費、名簿積立 子	600,000
	会費	1,250,000	1,373,400		1,300,000
	事務準備	100,000	153,000		180,000
	製 費	150,000	40,000		500,000
	製 費	30,000	20,000		30,000
	合 計	243,097	164,500		180,000
合 計	2,473,097	2,335,600		2,838,497	

り、春休みも毎日学校へ行

会計報告

梧桐会探検隊のおすすすめする「足の向くまま あそび場めぐり」

消防の歩みを一堂に「消防博物館」

昨年12月にオープンした消防博物館(地下鉄丸の内線四谷三丁目駅前)は、見て触れて楽しみながら防災知識を身につけることができる資料センターです。消防クラシックカーや消防ヘリコプターが展示されているこの博物館では、江戸時代の火消しから昭和の消防までの歴史をジオラマなどで紹介しています。このほか、火災時の通報システムをアニメで紹介...



寄稿 大崎高校と地元

高村 幸弘 (高村文具店)

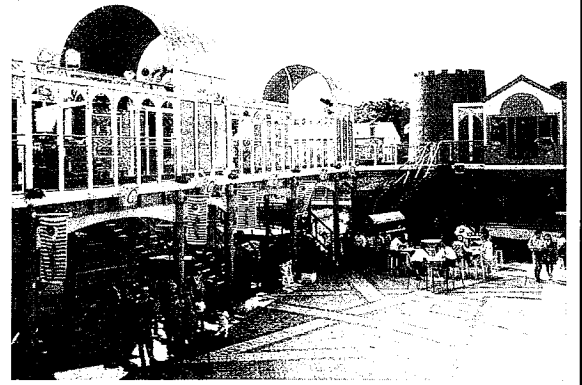
梧桐会の皆様には、各界にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

ある日、貴会役員の渋谷氏が、会長である千葉治男氏の名刺を手に私の店においてにやました。その2枚の名刺の裏には「丁寧な、お便りが認められておりました。千葉氏は私にとり長年の友人であり、大変懐かしく思いつつ、全く自信のないままこの投稿をお引受けしてしまいました。乱筆乱文をお許しください。私として、私が小学校へ通って...



ある頃だったと思いますが、椅子を各自で抱えた行列が大きな門(業医門の中)に入っていくのを眺めておりました。これが私と大崎高校の皆様との出会いでした。当時地元では、戸越地区は戸越公園、文部省資料館を中心に、文教の町として...

「ナムコ・ワンダーエッグ」



ナムコ・ワンダーエッグは、時代を先取りした「遊び」をクリエイトしているテーマパークです。ワンダーエッグの世界にあるバックストーリーは、より楽しく遊ぶための隠し味。お子様から大人まで幅広く楽しめる遊び心を散りばめた、一味違う遊園地です。スクリーンに合わせてシートが動く、体感マシンなどもある。また、中にあるエクス広場では、多彩なイベントが開催される。鬼ごっこのようにエキサイティングなカーバトル、フューチャーコロシウム。よ...

平成四年度卒業生進路状況 (四月十日現在)

Table with columns: 進学 (進学), 就職 (就職), 短期大学 (短期大学), 専門学校 (専門学校), 大学 (大学). Lists various institutions and graduates.

編集後記

◇今、四月十六日夜九時半である。編集後記を書きはじめたということは、最終原稿が入ったということになるが、実はまだ入っていない。何か入っていないかという、それは会計報告である。会計報告はスペースが決まっているから、後回しにできる。だから先へ進もう。

◇能登孝子さんの記事は、「大崎ジャナル」の件で竹内先生の所に届いていたものを掲載させていただいたものです。昭和二十年前半の学校の様子がよくわかりました。何しろ私の生まれている十年も前の話、昔の大崎の様子を紹介した記事は、私にはかえって「新鮮な記事」に思えます。「大崎ジャナル」創刊号は2面の写真のように、傷みが激しく、うっかりすると破れてしまいうです。もしかして、最後の一枚かも知れません。学校の方で保存よろしく願います。また、資料の収集にご協力を願います。

役員氏名 (卒年度) table listing names and graduation years: 会長 千葉 治男 (41), 副会長 川村 治 (38), 幹事長 原田 貞 (44), 副幹事長 渡部 良彦 (60), 書記 品澤 修 (61), 書記 加藤 昌明 (60), 会計 藤井 裕久 (2), 菅野真由美 (61), 戸沢 志乃 (61)

新幹事 (4年度卒) table listing names: A 竹田 聡 (一木 陽子), B 濱野 達之 (小菅 希子), C 草薙 俊充 (大塚 敏子), D 稲葉 剛 (高久 和子), E 牧田真一郎 (依田 賢世), F 安部 一晴 (青柳 有厘), G 西山 茂男 (高木 裕子), H 竹田 琢 (坂下 寿美江)